

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成27事業年度 年度計画評価表

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 平成27事業年度 年度計画評価表

項目番号			年度計画	地方独立行政法人		評価委員会評価					
大	中	小	内容	自己評価	評価	評価	評価の判断理由・評価に対するコメントなど				
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置											
	1		救急医療								
			<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとして、脳卒中・急性心筋梗塞・多発外傷・熱傷・急性中毒等の重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応する。 初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担うとともに、メディカルセンターへの夜間急病診療所機能移転の妥当性について検討する。 二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、一月あたり夜間4コマ（内科系・外科系各2コマ）、休日日中2コマ（内科系・外科系各1コマ）病院群輪番制に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入を行った。 〈実績数値〉 救急車搬送受入患者数：2,538人 救急搬送受入件数（地域別：主なもの） 山武郡市：1,841人 長生郡市：308人 初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとして患者の受け入れを行った。 二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担い、一月あたり夜間4コマ、休日日中2コマ病院群輪番制に参加した。 〈実績〉 山武郡市二次救急医療輪番開始（一月あたり内科系2日、外科系2日） 山武郡市休日当番開始 （一月あたり二次内科系1日、二次外科系1日） 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を大幅に上回る救急車搬送受入実績と、医師等の体制からも相当の努力が伺えるため、評価5としても良い。今後は、救急受入できなかった事例（件数）の評価と対策を期待したい。 救命救急センターとして、広域的に多数の重篤救急患者等を受け入れていることは評価できる。今後も、他の医療機関との協力のもと、地域のニーズにこたえられるよう努めていただきたい。 目標数値に対する実績においての評価は妥当であるが、数値設定の根拠が乏しいため、再考願いたい。例えば、要請に対する受入率等、病院の内的要因の評価が必要であると考えている。 				
			<p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬送受入患者数</td> <td>2,000人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成27年度目標	救急車搬送受入患者数	2,000人				
事 項	平成27年度目標										
救急車搬送受入患者数	2,000人										

2	<p>地域の中核病院として担うべき医療</p> <p>(1) 小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供する。 救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療への対応ができるよう準備を整える。 	<p>小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療の提供を行った。 救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療に対応した。 <p>〈実績数値〉</p> <p>小児科入院延患者数： 550人</p> <p>小児科外来延患者数：5,840人</p> <p>診療日・診療時間：月曜日～金曜日 9時～12時 13時～17時 月曜日・木曜日 17時～23時</p>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 小児医療・小児救急医療に取り組んでいることは評価できる。 評価の判断材料として、数値目標の設定を願いたい。 現時点で難しいとは思いますが、小児救急の24時間対応を期待するところであり、積極的な対応をお願いしたい。
	<p>(2) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療ができるよう人材確保を行い準備を整える。 	<p>周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療を行うため、千葉県の協力のもと、次年度着任の医師の確保を行った。平成28年3月末現在で助産師11人を確保しており、平成28年度から周産期医療の提供を行う。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、多くの産婦や患者を受け入れられるよう、広報等に努めていただきたい。 産科については、小児科との連携を含め広報等をお願いしたい。
	<p>(3) 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるように、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備する。 メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行うとともにDMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加し、災害医療に対応する。 千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整える。 	<p>災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域災害拠点病院として災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。 メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。 <p>〈実績〉</p> <p>9月1日 政府主催総合防災訓練の実施 (千葉大学医学部附属病院DMATと総合的な訓練を行った)</p> <p>9月11・12日 北関東・東北の集中豪雨災害の被災地においてDMATとして活動を行った。</p>	3	3	
	<p>(4) 感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核については結核患者収容モデル病床に 	<p>感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核については結核患者収容モデル病床を使用し、 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> HIV専門医確保の検討結果を開示すべきである。

		<p>て、結核患者に対応した医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討する。 ・新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行う。 	<p>結核患者に対応した医療を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討をした。 ・新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときに備え、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行えるよう、マニュアル等の作成と整備を行った。 			
3	高度専門医療					
(1)	<p>4 疾病への対応</p> <p>① がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院と連携して治療を行う。 ・がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がんについても対応する。また子宮がん、乳がんについて対応を検討する。 ・地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を目指す。 <p>② 脳卒中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療を行う。 ・急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。 <p>③ 急性心筋梗塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとす 	<p>4 疾病への対応</p> <p>① がん</p> <p>消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院等と連携して治療を行った。</p> <p>がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がんについても対応した。</p> <p>地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を検討した。</p> <p>② 脳卒中</p> <p>脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等の治療を行った。</p> <p>また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保した。</p> <p>③ 急性心筋梗塞</p> <p>急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。</p> <p>④ 糖尿病</p> <p>糖尿病については、外来での一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日の対応を含め、患者の受入状況等についても自己評価するべきである。 	

	<p>る各種治療法による急性期医療を中心に提供する。</p> <p>④ 糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者に対する一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入を行う。 ・維持透析療法が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保するとともに、重篤な合併症発症時に対応する。 	<p>の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行った。住民を対象とした糖尿病教室を開催した。また、糖尿病患者の入院治療に対応するとともに食事療養やインスリン注射等の自己管理を中心とした教育入院の対応を行った。</p>			
<p>(2)</p>	<p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備し、外来診療については地域医療機関との役割分担のもと紹介や専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供する。 <p>② チーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科、各コメディカル部門との連携による救急医療を提供する。 ・早期リハビリ、NST（栄養サポートチーム）等の分野におけるチーム医療体制を構築し活動する。 <p>③ 高度専門医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応 	<p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療</p> <p>入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供し、18診療科の体制を整備した。外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。</p> <p>② チーム医療の推進</p> <p>それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医療を提供した。</p> <p>医師を含む多職種で構成するNST（栄養サポートチーム）等のチーム医療体制を構築し活動した。</p> <p>③ 高度専門医療の充実</p> <p>医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要な診療科を重点的に整備し、より高度な専門医療体制を構築した。</p> <p>また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を取得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するた 	<p>3</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高度で専門性の高い医療の提供に、チーム医療体制（NST）等を構築し活動していること、また、指定医療機関の指定や各種学会による認定取得をして、高度な医療を提供していることは、職員のモチベーションにもつながり、評価できる。ただし、年度目標値が不明確であるため、今後のDPCの係数や診療報酬にも関連する体制等を踏まえ、目標値を明確にし、計画的な取組を願う。 ・高度な総合医療については、急性期医療の安定した提供や地域医療機関との役割分担の構築がなされているか不明確である。チーム医療の推進については、評価にあたり、実績等の明示を願う。指定医療機関の指定は積極的に取得しており評価できる。しかし、近隣医療施設と連携医療機関証の締結など地域医療に

		<p>じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療体制を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の認定取得を目指す。 	<p>めの法律第59条第1項の規定による指定自立支援医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修病院指定 日本外科学会外科専門医制度関連施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設 日本呼吸器学会関連施設 日本消化器病学会専門医制度認定施設 			<p>おける信頼を得ることが必要と考える。項目全体としての評価は妥当である。</p>
4		安全・安心で信頼される医療				
	(1)	医療安全対策の徹底				
		<p>① 医療安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行うとともに、医療事故発生時には十分な検証と検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底する。 医療安全管理マニュアル等に基づき、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。 <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染管理委員会による研修会の実施、また、千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底する。 院内感染防止に関するマニュアルに基づき、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処する。 	<p>① 医療安全対策の徹底</p> <p>医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。</p> <p>また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備し、年2回医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。</p> <p>〈実績〉 平成27年10月14日・平成28年2月26日 医療安全・感染対策研修会実施</p> <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <p>感染管理委員会による研修会を実施した。また、千葉大学医学部附属病院の研修に参加する等、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図った。</p> <p>また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処した。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 体制を整えている状況は理解できるが、両項目ともに記載されていることは基本的な事項であると考え。医療安全対策については、研修やマニュアルの整備及び遵守等、院内の各所属にどのように浸透されているのか検証が必要である。例えば、インシデント・アクシデントの報告数や部署・所属別の提出数や内容の分析その後の対策対応等が挙げられる。院内感染防止対策の徹底も同様に検証が必要である。
	(2)	患者の視点に立った医療の実践				
		<ul style="list-style-type: none"> インフォームド・コンセントの取得を徹底する。 患者やその家族に対し満足度調査等を実施 	<p>患者の視点に立った医療の実践</p> <p>インフォームド・コンセントを徹底するため、患者パス等で患者の視点に立った説明を行った。</p> <p>患者やその家族に対し満足度の高い医療を提供する</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> インフォームド・コンセントを徹底するため、患者パス等で患者の視点に立った説明を行ったとのことであるが、説明だけでなく患者・家族の意思決定

		し、現状を把握するとともに満足度の高い医療の提供を行う。	ため、満足度調査として意見箱を設置し調査を行った。			支援（重症度、医療・看護必要度等）までが求められており、その結果の記録が重要である。患者の満足度調査については、調査の内容・分析対応までが必要であると思われる。 ・病院側からの説明は徹底されたと思うが、患者側の理解度が重要であり満足度調査により評価するべきである。
	(3)	医療の標準化と診療情報の分析 ・クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの積極的な活用を図る。 ・診療情報データを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図るため、D P C（診断群分類別包括評価）対象病院の認定を目指す。	医療の標準化と診療情報の分析 クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの導入及び運用を積極的に行った。 また、D P C（診断群分類別包括評価）に対応するデータを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図った。 D P C対象病院の認定についてD P C準備病院として申請を行い平成 30 年取得に向けて準備を行った。	3	3	
	(4)	法令・行動規範の遵守（コンプライアンス） ・公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和 2 3 年法律第 2 0 5 号）をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図る。	法令・行動規範の遵守（コンプライアンス） 公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図った。	3	3	
5		患者・住民サービスの向上				
	(1)	利用しやすい病院づくり ・患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底する。出入口への車いすの配置等、総合案内や各受付職員を中心に高齢者や障害者が安心して医療を受けられる環境を常に意識する。 ・患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、その結	利用しやすい病院づくり 患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底し、出入口の車いすの配置や、総合案内・総合受付の対応により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備した。 また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握した。	3	3	・満足度調査による現状把握にとどまらず、結果の分析による対応を行うべきである。 ・利用しやすい病院づくりの項目では、雨天時の駐車場等からの利便性向上など特に高齢者・障害者に対する配慮が必要であり、評価 2 であると考える。

		果をもとに患者サービスの向上を図る。									
	(2)	患者の待ち時間への配慮 ・外来診療予約の対応は待ち時間に配慮するとともに、会計の待ち時間短縮のための対策を検討する。	患者の待ち時間への配慮 外来診療、会計等の待ち時間を短縮するため、外来診療に係るシステムの見直しを行い次年度に体制を構築するため検討を行った。	3	3						
	(3)	患者・来院者の利便性への配慮 ・患者や来院者の利便性に配慮した売店運営や、ATM機能の充実を図る。	患者・来院者の利便性への配慮 患者や来院者の利便性に配慮し、売店運営の時間延長やクレジットカード等の決済を導入した。	3	3						
	(4)	住民への保健医療情報の提供 ・住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報やメディカルセンターの医療内容を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図る。	住民への保健医療情報の提供 医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。 糖尿病教室 毎月第1金曜日開催	3	3						
	(5)	職員の接遇向上 ・患者や来院者に接するに相応しい接遇を職員一人ひとりが心がけ、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応を行うための研修を実施する。	職員の接遇向上 患者や来院者に接するに相応しい接遇を行うため、職員に対し接遇研修を行った。 平成28年3月30日 接遇研修実施	3	3						
	6	地域医療への貢献									
	(1)	地域医療機関等との連携推進 ・地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進するとともに、千葉県が推進する循環型地域医療連携システム（地域医療連携パス）の活用を図ることで、患者が急性期から回復まで切れ目のない医療を受けられる体制を整備する。 〈関連する数値目標〉 <table border="1" data-bbox="347 1236 873 1337"> <tr> <td>事 項</td> <td>平成27年度目標</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>40%</td> </tr> </table>	事 項	平成27年度目標	紹介率	65%	逆紹介率	40%	地域医療機関等との連携推進 地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介の対応を行った。 地域医療連携室の活動として地域の医師会の協力を得ながら地域の医療機関と密接な関係を構築した。 骨密度測定検査について医療機器の共同利用を開始した。 〈実績〉 紹介率57.25% 逆紹介率44.61% 平成27年9月9日 地域連携の会開催	3	3
事 項	平成27年度目標										
紹介率	65%										
逆紹介率	40%										
	(2)	保健福祉行政等との協力 ・地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図るとともに、自治体消防部局と連携し救急救命士や救急隊員の教育を行う。	保健福祉行政等との協力 地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図った。 自治体消防部局と連携し救急救命士の教育研修を实	3	3						
					・ホームページ等については、発信力が弱いと思われるため、より一層の周知を願いたい。						
					・接遇研修は年度末に1回実施しているが不十分である。 ・研修の評価についてのより具体的な記述を望みます。職員の行動の変容・相応しい対応等は、即結果として現れにくいいため、短・中・長期的な研修のねらい等を目標として定め、評価をすべきである。						
					・紹介率が目標を下回っていることから、評価2が妥当であると考える。 ・地域連携は非常に重要であり、紹介率・逆紹介率は低いように思われる。						

		<ul style="list-style-type: none"> ・医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。 	<p>施した。 また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。</p>																																																		
	(3)	<p>疾病予防の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行う。 	<p>疾病予防の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行った。 	3	3																																																
7		<p>メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度については以下のとおりとする。 ・形成外科については前倒して平成27年度からの開設とする。 ・産婦人科については通常分娩を実施できるよう人材確保を行う。 	<p>平成27年度については、18診療科の体制を構築した。</p>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、地域のニーズや効率的な病院運営の観点を踏まえ、病棟の開棟を進めていただきたい。 ・需要と経済性を考慮し、目標数値の再検討が必要である。 																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科 (診療科数)</td> <td colspan="2">内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)</td> </tr> <tr> <td>開設病棟</td> <td colspan="2">230床</td> </tr> <tr> <td>(一般病棟)</td> <td>5病棟</td> <td>210床</td> </tr> <tr> <td>(救命救急センター)</td> <td>ICU</td> <td>10床</td> </tr> <tr> <td></td> <td>HCU</td> <td>10床</td> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td colspan="2">48人</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td colspan="2">199人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記については年度末の数値であり、医師数には後期研修医を含んでいる。</p>		平成27年度		診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)		開設病棟	230床		(一般病棟)	5病棟	210床	(救命救急センター)	ICU	10床		HCU	10床	医師数	48人		看護師数	199人		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科 (診療科数)</td> <td colspan="2">内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td colspan="2">164床</td> </tr> <tr> <td>(一般病棟)</td> <td>4病棟</td> <td>144床</td> </tr> <tr> <td>(救命救急センター)</td> <td>ICU</td> <td>10床</td> </tr> <tr> <td></td> <td>HCU</td> <td>10床</td> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td colspan="2">37人</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td colspan="2">155人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記については年度末の数値であり、医師数には後期研修医を含んでいる。</p>		平成27年度		診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)		病床数	164床		(一般病棟)	4病棟	144床	(救命救急センター)	ICU	10床		HCU	10床	医師数	37人		看護師数	155人			
	平成27年度																																																				
診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)																																																				
開設病棟	230床																																																				
(一般病棟)	5病棟	210床																																																			
(救命救急センター)	ICU	10床																																																			
	HCU	10床																																																			
医師数	48人																																																				
看護師数	199人																																																				
	平成27年度																																																				
診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)																																																				
病床数	164床																																																				
(一般病棟)	4病棟	144床																																																			
(救命救急センター)	ICU	10床																																																			
	HCU	10床																																																			
医師数	37人																																																				
看護師数	155人																																																				

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1						
	(1)	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備する。 中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織を立ち上げ、目標達成の進捗管理のための準備を行う。 	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <p>医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うための運営会議を整備した。また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、運営会議において平成27年度の運営状況について説明を行い年度計画における目標の進捗管理を行った。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成の進捗管理が出来ているとは思われないため評価2であると考える。
	(2)	<p>人員配置の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、定期的又は必要に応じて迅速に医師や看護師等の人員配置の見直しを適宜行う。 	<p>人員配置の弾力的運用</p> <p>患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、整形外科等の患者数の多い診療科においては、積極的に後期研修医を配置した。また看護部においては、7対1入院基本料の看護師定員に沿った人員の配置を行った。</p>	3	3	
	(3)	<p>人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入する。効果的な評定制とするため、評定者研修等を行う。 	<p>人事評価制度の導入</p> <p>職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図る為、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度について試験的導入として事務部を対象に評価を行った。</p>	2	2	
	(4)	<p>外部評価</p> <p>① 監査の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果を公表する。 <p>② 病院機能評価等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証する 	<p>外部評価</p> <p>① 監査の活用</p> <p>監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行い、結果を公表した。</p> <p>② 病院機能評価等の活用</p> <p>組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うため検討した。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 評価については妥当であると思われるが、住民意見の反映、活用がされているか疑問が残る。

		<p>ため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行う。</p> <p>③ 住民意見の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、サービスの向上を図る。 	<p>③ 住民意見の活用</p> <p>住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査を実施した。また、意見箱の設置を行い、現状を把握に努めた。</p>			
2		<p>人材の確保</p>				
	(1)	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備する。 	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <p>千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備した。</p>	3	3	
	(2)	<p>医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、臨床研修医の受入れを行い、臨床研修指定病院の指定を目指す。 	<p>医師の確保</p> <p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、平成27年9月に臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医の受入を開始した。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医を何名受け入れたのか記載していただきたい。 ・今後は、医師の確保状況も評価の視点に加えるべきと考える。
	(3)	<p>看護師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに看護師確保対策室を設置し、看護師確保の組織体制を強化する。 ・合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を図る。 ・城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域におけ 	<p>看護師の確保</p> <p>新たに設置した看護師確保対策室のもと県内の看護学校への訪問や県内高校への看護師育成を目的とする広報活動を行い看護師確保に努めた。法人独自の活動による合同就職説明会への参加や就職説明会・採用試験の複数回実施を行った。また、インターネットを利用した看護部専用ホームページを作成し広報活動を強化するとともに各種媒体への広告掲載、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を行った。</p>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・離職率は高いと思われるが、離職の根本的な原因がわからないといくら採用しても効果はあがらないと思われる。奨学金の学生も採用されているため、長く勤めてもらえるよう取組をお願いしたい。 ・看護師確保の難しい地域でもあり、当初の目標に達しなかったとはいえ、努力が数値に現れている。ただし、離職率が高い状況から、整えなければならない体制等もあり、課題も多いと思われる。離職者の理由等も分析

		る看護師の育成に寄与する。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図る。	次年度の看護師確保に向けて奨学金制度の見直しを行い、より多くの奨学生を確保できるよう検討を行った。 城西国際大学看護学部等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、インターンシップも行い、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図った。			し、確保及び定着の取組が必要である。 ・各取組の実績数値について記載していただきたい。 今後は、看護師の採用状況や離職状況も評価の視点に加えるべきと考える。 看護師の採用数が現状以上となるよう、また、離職率が現状以下となるよう努めていただきたい。
	3	人材育成				
		<ul style="list-style-type: none"> ・学会、研究会及び研修会への参加と職務上必要な資格の取得を計画的に促進する。 ・医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討する。 ・事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進する。 	学会、研究会及び研修会への参加を促進した。 医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得のための研修や学会発表を行った。薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた研修や学会発表を行った。 事務職員については、医師事務作業補助者の資格取得のための研修に参加した。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・資格の取得者数等の実績を踏まえ評価するべきである。 ・医師・看護師・薬剤師・事務員のスキルアップは病院自体の評価に直接反映するものであり積極的な推進を望む。
	4	働きやすい職場環境の整備				
		<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師宿舍及び院内保育所を充実させる。医師・看護師等の業務負担軽減のための事務補助員を適正配置する。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等の取り組みを進める。 	医師・看護師宿舍の効果的な活用を行った。 院内保育所については、夜勤等の勤務状況を踏まえた受け入れ態勢を整備した。 医師・看護師等の業務負担軽減のための事務補助員を適正配置した。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等を行った。	3	3	
	5	職員給与の原則 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の給与については、法人の業務実績を反映させた給与制度の導入を検討する。 	医師の人事異動等に法人の年度内実績を反映させるため、医師の賞与支給日を変更した。 支給日：6月15日・12月10日 →9月15日・3月10日			<ul style="list-style-type: none"> ・医業収益の伸び悩みの影響が経営悪化の大きな要因であると考えられるが、人事評価制度の導入なども合わせ、職員給与の適正化を検討すべきである。

		<p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <tr> <td>事 項</td> <td>平成27年度目標</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業 収益比率</td> <td>58.2%</td> </tr> </table>	事 項	平成27年度目標	職員給与費対医業 収益比率	58.2%	<p><実績数値></p> <p>職員給与費対医業収益比率 69.0%</p>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の早急な整備が望まれる。適正な人員配置の検証と検討が必要と考える。
事 項	平成27年度目標									
職員給与費対医業 収益比率	58.2%									
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置										
	1	健全な経営基盤の確立								
		(1) 健全な経営基盤の確立								
		<ul style="list-style-type: none"> 全職員が経営情報を共有できるよう運営会議に報告するとともに、定期的な説明の場を設ける。 各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築する。 	<p>全職員が経営情報を共有できるよう平成27年度の運営状況について運営会議に報告した。</p> <p>また、物流委員会で診療材料等の調達に関し、各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築した。</p>	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 債務超過の状況でもあり、評価2と考える。 全職員が病院の危機的運営状況を認識しているとは考えられない。評価2と考える。 				
		(2) 経営情報システムの整備								
		<ul style="list-style-type: none"> 財務会計システムについては、経営判断や意思決定に資する有効なシステムとなるよう機能の追加や見直しを適宜行い、機能の向上を図る。 	<p>財務会計システムについては、経営判断や意思決定に資する有効なシステムとなるよう顧問である公認会計士の意見を取り入れ機能の追加や見直しを行った。</p>	3	3					
	2	収益の確保と費用の合理化								
		(1) 収益の確保								
		<ul style="list-style-type: none"> 病棟開棟、病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上等に取り組む。 診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施するとともに、未収金状況把握のための定期的な事務会合を行い、適宜臨戸徴収を行う。 保険委員会を中心に査定返戻等の防止に取り組む。 	<p>年度計画とおりの開棟を目指すも看護師の確保状況から予定した病床数の確保は行えなかった。</p> <p>しかし、外来診療単価及び入院診療単価においては、年度目標を達成した。</p> <p>収益確保策として平成28年1月に7対1入院基本料の施設基準を取得した。</p> <p><実績数値></p> <p>平成28年3月末日開棟病床：164床 ICU：10床 HCU：10床 一般病床：144床 病床利用率：ICU：75.1% HCU：77.0% 一般病床：83.4% 外来平均患者数：189.1人/日 入院平均患者数：129.6人/日</p>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 外来収益の伸び悩みが目立っている。患者増加の具体策を実施し収益改善を図る必要がある。入院収益についても看護師の確保をして収入増加を図る必要がある。 ベッドの開床に関連し、病床稼働率についても上げていただきたい。 経常収益が年度計画と比較して約10億円も下回っており、収支の改善が急務である。いつまでに、どのように自立的経営を 				

		<p>診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施した。未収金回収対策として督促や催告を行い対応した。</p> <p><実績> 入院未収金 16,685千円 外来未収金 593千円</p> <p>医師を中心に多職種で構成された保険委員会を毎月開催し査定返戻等の状況を協議し対策を講じた。</p> <p><実績> 平成27年度査定率 入院平均 0.71% 外来平均 0.21% 平成27年度返戻率 入院平均 3.31% 外来平均 0.65%</p>		<p>確立するののかという道筋を、今後予定されている第2期中期計画の変更において示していただきたい。</p>																																	
(2)	<p>費用の合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法の導入や外部委託の活用を図る。 ・薬品、診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑えるとともに、薬事委員会にてジェネリック医薬品を採用し、費用の節減を図る。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <tr> <td>事 項</td> <td>平成27年度目標</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>5,528百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>一般病床利用率</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>138.0人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>50,500円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>平均患者数</td> <td>234.0人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>13,000円</td> </tr> </table>	事 項	平成27年度目標	経常収益	5,528百万円	入院	一般病床利用率	85%	平均患者数	138.0人/日	診療報酬単価	50,500円	外来	平均患者数	234.0人/日	診療報酬単価	13,000円	<p>中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を採用した。</p> <p>診療材料は、外部委託を活用した預託在庫方式を用いて在庫管理を行い、薬品においては薬剤部を中心に在庫システムを利用した在庫管理を行った。</p> <p>ジェネリック医薬品の採用は少ないながらも薬事委員会で使用数の多い部分の医薬品においてジェネリック医薬品に変更するなどの調整を行い費用の節減を図った。</p> <p><実績> 後発医薬品採用率 43%</p> <p><実績数値></p> <table border="1"> <tr> <td>事 項</td> <td>平成27年度実績</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>4,612百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>一般病床利用率</td> <td>83.4%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>114.8人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>51,681円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>平均患者数</td> <td>189.1人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>13,205円</td> </tr> </table>	事 項	平成27年度実績	経常収益	4,612百万円	入院	一般病床利用率	83.4%	平均患者数	114.8人/日	診療報酬単価	51,681円	外来	平均患者数	189.1人/日	診療報酬単価	13,205円	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のアドバイスも得て、費用の合理化を図っていただきたい。特に、年度計画と比較してもかかわらず、経費は上回っている。このため、患者の受入増による収益の増加や経費率が高い原因の分析などを図り、収支改善に努めていただきたい。 ・医薬品・診療材料の在庫を実績をもとに適正に管理していただきたい。
事 項	平成27年度目標																																				
経常収益	5,528百万円																																				
入院	一般病床利用率	85%																																			
	平均患者数	138.0人/日																																			
	診療報酬単価	50,500円																																			
外来	平均患者数	234.0人/日																																			
	診療報酬単価	13,000円																																			
事 項	平成27年度実績																																				
経常収益	4,612百万円																																				
入院	一般病床利用率	83.4%																																			
	平均患者数	114.8人/日																																			
	診療報酬単価	51,681円																																			
外来	平均患者数	189.1人/日																																			
	診療報酬単価	13,205円																																			

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置						
1	財政負担の原則	<ul style="list-style-type: none"> 運営費負担金等（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ）は、「地方独立行政法人等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通知）」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。 長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については料金助成のための運営費負担金等とする。 	<p>財政負担のとおり実施した。</p> <p>総 額： 728,353,000円 東金市： 548,633,000円 九十九里町：179,720,000円</p> <p>長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金の額</p> <p>総 額： 206,487,967円 東金市： 157,258,093円 九十九里町： 49,229,874円</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 財政負担を減額することについて評価をすべきと考える。
2	地域に対する広報	<ul style="list-style-type: none"> 医療センターNEWS等の発行やホームページの活用により情報提供を行う。 	<p>ホームページの更新や看護部専用のホームページの設置を行った。また、設立団体の広報に協力をいただき診療科や医師の情報提供を行った。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果を考慮した適正な広報をお願いしたい。年報についても必要があるのか検討するべきである。評価は2であると思われる。

第5 予算（人件費の見積もりを含む。）収支計画及び資金計画

別表1
予算（平成27年度）

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
営業収益	5,315
医業収益	4,757
運営費負担金収益	549
補助金等収益	7
その他営業外収益	2
営業外収益	207
運営費負担金収益	207
その他営業外収益	
資本収入	950
運営費負担金収益	300
長期借入金	650
その他資本収入	
その他の収入	500
計	6,972
支出	
営業費用	5,513
医業費用	5,241
給与費	2,539
材料費	1,284
経費	1,410
その他医業費用	8
一般管理費	272
営業外費用	132
資本支出	805
建設改良費	300
償還金	494
その他資本支出	11
その他の支出	350
計	6,800

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

総額2,767百万円を支出する。
なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、

別表1
予算（平成27年度）

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	5,315	4,382	▲ 933
医業収益	4,757	3,619	▲ 1,138
運営費負担金収益	549	728	179
補助金等収益	7	9	2
その他営業外収益	2	25	23
営業外収益	207	230	23
運営費負担金収益	207	206	▲ 1
その他営業外収益		24	24
資本収入	950	1,264	314
運営費負担金収益	300	299	▲ 1
長期借入金	650	965	315
その他資本収入			
その他の収入	500	500	
計	6,972	6,377	▲ 595
支出			
営業費用	5,513	5,241	▲ 272
医業費用	5,241	5,025	▲ 216
給与費	2,539	2,303	▲ 236
材料費	1,284	1,175	▲ 109
経費	1,410	1,543	133
その他医業費用	8	5	▲ 3
一般管理費	272	216	▲ 56
営業外費用	132	132	
資本支出	805	607	▲ 198
建設改良費	300	99	▲ 201
償還金	494	494	
その他資本支出	11	14	3
その他の支出	350	350	
計	6,800	6,330	▲ 470

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

総額2,767百万円を支出する。
なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、

基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

別表2
収支計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入の部	5,528
営業収益	5,321
医業収益	4,757
運営費負担金収益	549
補助金等収益	7
資産見返運営費負担金戻入	6
その他営業収益	2
営業外収益	207
運営費負担金収益	207
その他営業外収益	
臨時利益	
支出の部	6,586
営業費用	6,454
医業費用	6,178
給与費	2,588
材料費	1,284
経費	1,410
減価償却費	888
その他医業費用	8
一般管理費	276
営業外費用	132
臨時損失	
純利益	▲ 1,058
目的積立金取崩額	
総利益	▲ 2,643

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

別表2
収支計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差額
収入の部	5,528	4,612	▲ 916
営業収益	5,321	4,382	▲ 939
医業収益	4,757	3,619	▲ 1,138
運営費負担金収益	549	728	179
補助金等収益	7	9	2
資産見返運営費負担金戻入	6	23	17
その他営業収益	2	3	1
営業外収益	207	230	23
運営費負担金収益	207	206	▲ 1
その他営業外収益		24	24
臨時利益			
支出の部	6,586	6,268	▲ 318
営業費用	6,454	5,937	▲ 517
医業費用	6,178	5,721	▲ 457
給与費	2,588	2,303	▲ 285
材料費	1,284	1,175	▲ 109
経費	1,410	1,543	133
減価償却費	888	695	▲ 193
その他医業費用	8	5	▲ 3
一般管理費	276	216	▲ 60
営業外費用	132	131	▲ 1
臨時損失		200	200
純利益	▲ 1,058	▲ 1,656	598
目的積立金取崩額			
総利益	▲ 2,643	▲ 3,196	553

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

別表3
資金計画（平成27年度）

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金収入	6,972
業務活動による収入	5,522
診療業務による収入	4,757
運営費負担金による収入	756
補助金等収入	7
その他の業務活動による収入	2
投資活動による収入	300
運営費負担金による収入	300
その他の投資活動による収入	
財務活動による収入	1,150
長期借入れによる収入	650
その他の財務活動による収入	500
前期中期目標の期間よりの繰越金	
資金支出	6,800
業務活動による支出	5,645
給与費支出	2,767
材料費支出	1,284
その他の業務活動による支出	1,594
投資活動による支出	311
有形固定資産の取得による支出	300
その他の投資活動による支出	11
財務活動による支出	844
長期借入金の返済による支出	844
その他の財務活動による支出	
資金収支差額	172
翌事業年度への繰越金	408

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

別表3
資金計画（平成27年度）

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額
資金収入	6,972	6,258	▲ 714
業務活動による収入	5,522	4,793	▲ 729
診療業務による収入	4,757	3,488	▲ 1,269
運営費負担金による収入	756	935	179
補助金等収入	7	309	302
その他の業務活動による収入	2	61	59
投資活動による収入	300	294	▲ 6
運営費負担金による収入	300	294	▲ 6
その他の投資活動による収入			
財務活動による収入	1,150	1,171	21
長期借入れによる収入	650	671	21
その他の財務活動による収入	500	500	
前期中期目標の期間よりの繰越金			
資金支出	6,800	5,971	▲ 829
業務活動による支出	5,645	4,669	▲ 976
給与費支出	2,767	2,521	▲ 246
材料費支出	1,284	914	▲ 370
その他の業務活動による支出	1,594	1,234	▲ 360
投資活動による支出	311	326	15
有形固定資産の取得による支出	300	312	12
その他の投資活動による支出	11	14	3
財務活動による支出	844	976	132
長期借入金の返済による支出	844	494	▲ 350
その他の財務活動による支出		482	482
資金収支差額	172	287	115
翌事業年度への繰越金	408	317	▲ 91

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

第6 短期借入金の限度額

1	限度額	500百万円
		500百万円の短期借入 借入先：千葉興業銀行東金サンピア支店

	2	想定される短期借入金の発生事由						
		(1) 運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応 (2) その他、偶発的な資金不足への対応	運転資金等の資金不足により短期借入れを行った。					
第7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることを見込まれる財産の処分に関する計画								
			平成27年度は該当する財産の処分はない。					
第8 前章に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画								
			平成27年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。					
第9 余剰金の使途								
			平成27年度においては、該当する剰余金がない。					
第10 料金に関する事項								
	1	料金						
		省略	省略					
第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項								
	1	施設及び設備に関する計画 1 施設及び設備に関する計画	医療機器等の購入費として総額294百万円を借入した。 財源：東金市及び九十九里町長期借入金					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等の購入</td> <td>総額 300百万円</td> <td>東金市及び九十九里町長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>				施設及び設備の内容	予定額	財源
施設及び設備の内容	予定額	財源						
医療機器等の購入	総額 300百万円	東金市及び九十九里町長期借入金等						
		備考 1 金額については、見込みである。 2 各事業年度の東金市及び九十九里町長期借入金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。 3 医療機器等の選定にあたっては、費用対効果、地域住民の医療需要、償還等の負担を十分に考慮した上で行う。						
	2	積立金の処分に関する計画						
			平成27年度においては、積立金の処分に関する計画はない。					